

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称		上田市市民の森馬術場				
指定管理者名		上田乗馬倶楽部		料金制導入区分	利用料金	
指定管理期間		令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （ 5年間 ）				
施設所管課		文化スポーツ観光部 スポーツ推進課		担当者(内線)	望月大輔(1134)	
設置目的		馬術を通して市民の健全な心身の発展と福祉の向上に寄与するため				
指定管理者が行う業務内容		施設全体の管理、体験乗馬、引き馬、その業務に伴う馬匹の調教管理全般				
管理業務の状況	作業項目	作業内容		回数	実施日	実施状況
	厩舎作業	馬房の清掃		6	毎日	○
	馬匹の運動調教	馬の運動と調教 全26頭		26	毎日	○
職員の配置状況	役職等(職務内容)				計画	実績
	常勤職員				3 人	3 人
	週末勤務職員(土日祝)				1 人	1 人
	アルバイト、ボランティア				6 人	6 人
施設の 利用状況	利用区分等	設定目標値	R6年度実績	達成率	R5年度実績	前年度比
	利用人数	10,000 人	12,301 人	123.0 %	14,541 人	84.6 %
	利用料金	2,000,000 円	397,100 円	19.9 %	1,687,000 円	23.5 %
		人	人	%	人	%
	開館日数	310 日	延べ利用者数 (R6)	0 人	一日あたり 利用者数	0 人
	(施設所管課による評価)					
	一般利用者を増やし、さらに広く開けた施設を目指したい。					
自主事業 の状況	事業・イベント名(内容)				開催日時	参加者数
	飼育事業				通年	
	乗馬指導事業				通年	
	(施設所管課による評価)					
	馬の飼育のためによく環境が整備されており、利用者から一定の評価を得ているとに認識し					

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

		項目	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	令和6年度 決算額	備考	
指定管理者	指定管理業務	収入	利用料金	345,600	166,800	152,500	88,800	
		通年券	338,500	230,200	540,000	292,500		
		馬房使用料	1,200,000	1,200,000	1,212,000	1,200,000		
		電灯使用料				6,000		
		計	1,884,100	1,597,000	1,904,500	1,587,300		
	支出	人件費	988,185	1,028,656	1,217,280	997,019		
		消耗品費	209,546	364,415	160,000	177,124		
		燃料費	75,750	110,343	75,520	115,400		
		印刷製本費	0	0	0	800		
		修繕費	686,379	373,930	1,000,000	407,631		
		通信運搬費	33,165	44,366	80,000	17,065		
		保険料	14,396	7,528	153,600	102,051		
		委託料	426,306	98,856	416,000	19,782		
		手数料	33,165	58,013	80,000	21,123		
		使用料及び賃借料	281,345	147,288	105,760	0		
		工事請負費	195,040	80,613	361,000	0		
		原材料費	28,977	24,709	202,560	0		
		備品購入費	38,720	19,008	38,880	0		
		光熱水費	74,464	53,042	53,120	57,481		
		計	3,085,438	2,410,767	3,943,720	1,915,476		
		差引	△ 1,201,338	△ 813,767	△ 2,039,220	△ 328,176		
		自主事業	収入	会費	1,026,300	1,606,125	1,700,000	1,849,600
	指導料金			790,100	607,632	600,000	547,064	
	騎乗料			7,832,357	9,710,592	9,800,000	5,275,918	
	馬匹預託料			10,344,746	4,770,014	4,800,000	6,193,028	
	自馬運動・調教科			1,995,659	4,677,784	4,700,000	3,230,750	
	乗馬教室			1,273,200	1,923,845	2,000,000	568,164	
	物品販売			22,000	47,000	50,000	75,320	
	農産物販売			31,400	74,370	75,000	9,500	
	利用料金・通年券			784,100	141,900	150,000	26,700	
	その他			458,585	204,000	205,000	109,980	
	計			24,558,447	23,763,262	24,080,000	17,886,024	
	支出		人件費	5,187,971	5,400,442	6,390,720	5,234,347	
消耗品費			1,100,116	1,913,179	840,000	929,902		
燃料費			397,686	579,298	396,480	605,849		
印刷製本費			0	0	0	4,200		
賄材費・飼料費			7,844,586	697,074	3,000,000	6,517,045		
医薬材料費			2,028,301	908,800	558,000	957,704		
通信運搬費			174,117	232,924	420,000	89,593		
保険料			75,581	39,525	806,400	535,765		
委託料			2,238,108	518,994	2,184,000	103,858		
手数料			174,117	304,567	420,000	110,897		
使用料及び賃借料			1,477,062	773,262	555,240	0		
原材料費			152,131	129,720	1,063,440	0		
備品購入費			203,280	99,792	204,120	0		
光熱水費			390,935	278,469	278,880	301,778		
登録料			0	57,440	60,000	262,270		
税金			21,500	50,000	50,000	198,900		
装蹄費			2,529,100	2,036,200	2,029,000	1,544,400		
車輛費			419,550	6,100	10,000	718,683		
その他			2,600,453	121,020	130,000	2,422,712	遠征費他	
計	27,014,594		14,146,806	19,396,280	20,537,903			
差引	△ 2,456,147		9,616,456	4,683,720	△ 2,651,879			
市	歳入							
		計	0	0	0	0		
	歳出							
		計	0	0	0	0		
差引		0	0	0	0			
総合計			△ 3,657,485	8,802,689	2,644,500	△ 2,980,055		

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判 断 基 準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
	事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○
		条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	△
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。 施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
	経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。	○
		管理費用の執行状況は適正か。	○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行なわれているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
		管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。 (※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか。	○
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないように、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	○
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
		安全衛生の管理体制は適正か。	○
個別事項			
(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載			

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

物価高騰の影響もあってか、来場される方の人数に比べて利用者が大幅に少ないと感じる令和6年度でした。来場された方に引き馬や餌やり体験を勧めても「見るだけで大丈夫」い言われてしまうことが多く、スタッフ間では来場者の方が「楽しそう」と感じ、自然に利用率が上がる様なアイデアが必要だと反省・改善の一年と感じた印象です。

また引き馬を利用される皆様も「こどもだけ」と大人の利用が少ない傾向があり、親子で楽しむことができる馬術場という点も今後の課題だと感じております。

今後は市民の皆様が馬術場に足を運び、自然と利用率が上がる様な大なり小なり、また参加し易い安価なイベントの発信が必要と思うことから、馬だけに囚われず馬と他の要素を取り入れたイベントを考えていきたいと思ひます。

その中で自然と利用率が上がる相乗効果が狙えるような乗馬やふれあいのプログラムを打ち出していきたいです。

②経費節減に対する取り組み

経費削減に関しては例年通りの取り組みを行いましたが、現在、馬に関わる経費の大部分が大幅な値上がりとなり経費削減の効果を感じる事が難しい一年でした。

馬に与える餌と厩舎に敷く敷料となるおがくずの値上がりが得に大きく、節約に悩んだ期間が大きかったです。現在行っている経費削減対策のほかにもできることが無いかをスタッフ一同で考えていく必要があります。

光熱費に関わる削減はこまめな消灯や無駄な電力を使わない事を心掛けましたが、電気料金も昨年と比べると上がっていることもあり大きな節減とはなりません。馬に関わる費用と同様に今まで以上にできる事が無いかを考えていく必要があると感じました。

③その他

昨年、山梨県にて4歳のお子様が馬に指を噛まれ切断する事故があった事を踏まえ、来場される小さなお子様の安全面を考慮して餌やりの際に小さなお子様は大きなスプーンを使用して餌を与える様にしました。

湯上げ用の大きなザル型スプーンを購入し、そこに馬に与えるにんじん等を乗せて与えてもらう様な形になります。

今後も来場者の安全対策につながる取り組みはどんどん取り入れていきたいと思ひます。

(2)指定管理業務実施上の課題

施設の利用率の低下をどの様に増加に向けていくかが指定管理業務上の一番の課題だと感じております。

利用率の低下に伴い、来場された方への声掛け等を行ってきましたが、努力不足を感じております。物価高騰も一つの要因となっていることも踏まえ、もっと利用しやすい雰囲気や市民の方に何度もリピートしてもらえる様なサービス内容を考えていく必要があると感じました。

また、施設の各所が老朽化により痛んできている点も自分たちでできる範囲は修繕し利用する皆様が気持ちよく施設をお使いいただける事を目標に努力したいと思ひます。

(3)次年度以降の取り組み

まずは令和6年よりも来場・利用者数を増やす事が目標です。

現在でも来場される方の中には市民の森公園に乗馬施設がある事を知らなかったと言われることがあります。まずは施設の存在を皆様に認識して頂くためのイベントを考えて馬術場の存在を周知することが重要と感じます。

その上で利用者数をあげるためのサービスや体験プログラムを考えて利用者の方が楽しめる、また、子ども達の学びになるような体験事業を提供していけたらと考えております。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

令和6年度は特にありません。

②市からの改善指示に対する対応(※ 市から改善指示等があった場合のみ)

利用者数を上げていくための運営を上記に記載した様にスタッフ一同で考えていきたいと思ひます。